

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会たより

平成 29 年 5 月 30 日発行

第 26 回研究会：平成 29 年 5 月 11 日（木）18：30～20：00

チーム結成4周年記念 ～新たなつながり・きずなを創る～

講演会を開催しました



今回は、4周年記念特別企画として、米原市より中村泰之氏をお迎えし講演会を開催しました。中村先生の地域医療に対する熱い想い、そして今、米原市で取り組まれている『全世代型地域包括ケア』について、「ふくしあ」の様子とともにお話いただきました。先生の信念とそこにかかわる専門職の思いが一体となった先駆的な取り組みに、参加者からは「すごい！」との感想と共に、「湖東地域でも目指していけないのだろうか」との声も聞かれ、多職種連携や地域包括ケアを考える上で、とても刺激となる講演会となりました。

◆参加者数：90名（医療関係者 39名、福祉関係者 15名、行政・包括等 36名、*内新規 30名）

講演 「全世代型地域包括ケアへの挑戦」

～米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」での取組から～

講師：米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」 センター長 **中村泰之 氏**



『全世代型地域包括ケア』

『ふくしあ』の名前にこめられた想い

どうしても成し遂げたくなかったこと

介護保険制度が始まってから「地域包括ケア」の主たる対象が高齢者であり、昔の小児から高齢者までの全世代を対象にしたシステムから遠く感じる。全世代対象の「地域包括ケア」を少しでも実現したい。

ますます大切になり、この施設の主要な役割である

「福祉」と「幸せ」をかけあわせ

～フクシアの花言葉～

「交友・信頼・暖かい心」を

心にしっかり持って



『無限のつながりをもった地域創生』



理念

つながり

基本方針

- ①地域とのつながりを大切に包括した医療・福祉を推進します。
- ②つながりをますます広げていき、地域の多職種連携を強化します。
- ③常に感謝の気持ちを大切に少しでも社会に貢献できるように努力します。

私たちが進めていくこと！（想いや考えを語れること）

- ①地域に、今、必要なこと、地域の未来に必要なことを、形を変えてでも実現するよう努力すること。
- ②何らかの障がいを持った方も、認知症を患った方も、小児も、成人も、高齢者も、みんなが同じ場所にいても自然な形でいられる地域をつくること。
- ③「ふくしあ」が地域の「つながり」をお手伝いできる施設になっていくように取り組むこと。

ふくしあ

交流会

《本日のテーマ》

- ①講演を聞いた感想・湖東地域の地域包括ケアについて思ったこと
- ②ことう地域チームケア研究会・多職種交流について



本日の司会進行は、彦根医療福祉推進センターセンター長
切手俊弘さん

グループ交流会



10のグループに分かれ、テーマに沿って多職種で意見交換を行いました。
限られた短い時間の中でしたが、講演の感想や多職種連携について活発な意見交換が行われました。

「目からうろこ」
「すごい！」



「全世代にわたる取り組み、地域包括ケア、
湖東地域では。」

- ・全世代に対して取り組まれているのがすごい！新鮮だった。
- ・中村先生の熱意、いろんな機関、いろんな職種をまきこんでいかれるところがすごい！
- ・多職種のつながり、全世代がつながるということを学べた。これを作り上げてこられるのは、先生の粘り強い思いとそれに共感するスタッフの熱い思いがあってこそだと思った。
- ・米原市行政のバックアップがすごく印象的だった。また、医療面の方々が全面的に引っ張ってイニシアティブを取って実施されてきたことは、推進の要因ではないかと思った。
- ・人材をどこから連れてこられたのか。やはり先生の人柄と笑顔で集まってこられたのではないかと思った。
- ・先生やスタッフの笑顔を見て、みなが楽しそうに取り組んでいるという印象を受けた。すばらしい！

- ・湖東地域もふくしあのような資源があったら安心して暮らせる地域になる、それを目指していかないといけない、というのが参加者の共通の感想だった。
- ・各機関が横にしっかりつながることで地域包括ケアシステムが作っていけるのだなと思った。
- ・この研究会も多職種や全世代がつながる場になって個々がつながって湖東地域でも強いチームが作れたらよいと思った。
- ・目の前の問題を地域の問題にしていく視点が大事なのではないかなと思った。

全体交流会

各グループの意見を全体でシェアしながら、中村先生と切手先生との対談風に全体交流を行いました。（詳しくは、「HP在宅医療福祉情報の森」に掲載します）



オフショーン企画

祝 チーム結成4周年
ことう地域チームケア研究会
くすのき懇親会

研究会の後、場所を移動し、中村先生を囲んで有志の懇親会を開催。50名近い参加者で会場は大盛り上がり！楽しいひと時となりました。いつもの研究会と違った場面、雰囲気の中で、医療福祉関係者同士の新たな気づき、つながりができたのではないのでしょうか。このつながりを地域に広げていきましょう。

ご参加ください！ 次回(第27回)は…

◆平成29年7月13日(木) 18:30~20:30

テーマ：『福祉用具の活用・自立支援』

担当団体：彦根愛知犬上介護保険事業者協議会

彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会

会場：くすのきセンター1階研修室

*申し込みは不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひとこと」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局
(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp



<http://kusunoki-iyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。



こんなこと思いました (アンケートより)

- ◆身体的な障害だけでなく、精神的な障害をお持ちの方も、病気の方も、ご家族の方も、全ての方が自然な形でいられるという言葉が強く印象に残りました (歯科)。
- ◇全世代を切れ目なく支援していける体制がすごいと思いました。仕事をしていく上での視野が広がった気がします (保健師)。
- ◆4月に赴任して湖東エリアで非常に強い多職種連携をされていると感じ参加させていただきました。今後も何か少しでもお手伝いできればと考え、まずは現場の声を聞くことができ大変良かった (製薬会社)。
- ◆先生の新しいことに取り組みまれるパワーに頭が下がります。私も学ばせていただきます。(介護支援専門員)
- ◇私自身も障害児の母親として、自分の住んでいる地域でいろいろな支援を受けられることはとてもうらやましく思います。6月から障害者の治療に携わることになるのでいろいろと勉強していきたい (歯科衛生士)。
- ◆今回始めて参加し、いろんな職種と出会えてよかった。まず横のつながりが大事だと思いました (看護師)。
- ◇まさに理想的な活動だと思います。彦根市でもこの活動が出来ればよいと感じています。それに向けて私も出来ることを考えていきたいと思えます (医療ソーシャルワーカー)。
- ◆高齢分野だけでなく様々な分野の方との顔の見える関係作りから必要だと感じた (社会福祉士)。
- ◆米原市は地域包括ケアが進んでいると感じた。中村先生の人間性やパワフルな取り組みに感動した。まさに全世代型の包括ケアであると思う (訪問看護師)。
- ◇地域の特色もあると思いますが、相手を想いながらつながることでよりよい輪が広がるのだと思います。湖東も本当にすごいと実感しました (薬剤師)。
- ◇地域性もあると思いますが、彦根でも往診してくださる先生が増えるとありがたいなと思いました。中村先生の姿勢や努力を知り、私たちケアマネも何かお手伝いできればと思いました (介護支援専門員)。
- ◆高齢者だけでなく小児に対する取り組みについて聞いたのが新鮮でした。他の地域について知ることができてよかった (医療ソーシャルワーカー)。
- ◇地域包括ケアというと高齢者、看取りというイメージしかなかったが、小児、リハビリ、病児保育、カウンセリングなど小児も成人も高齢者もみんなが同じ場所に居ても自然な形で居られる地域を作るという考え方、人との関わり方、大変勉強になりました。
- ◆久しぶりに研究会に参加しました。バージョンアップされていますね！そのことがまず素晴らしいです (歯科衛生士)。
- ◆いろんな職種の人たちが集まる機会をもっと作らなければならないと思いました。
- ◇小児～高齢者までの広がりや連携、活動について知る機会になり勉強になった。多職種と交流を深めていきたいと思った (作業療法士)。
- ◆湖東地域でも連携の機会が多いので出来ることはたくさんあるのではないかなと思う。地域づくりにつながっていけばと思う。
- ◇継続的にこれだけの方々が参加されているのはとても嬉しく、楽しいです (主任介護支援専門員)。
- ◆連携をとることは重要なことだと感じたこと。連携するための知識も必要だと感じました。
- ◇104歳の祖母と、昔関わった特別支援学級の子供たちの顔を思い浮かべました。
- ◆スーパーマンでなくとも維持できるシステムを作ることは本当に難しいと感じました (医師)。
- ◇米原市のように彦根市もいろいろな年代とのつながりがもてるようにしてほしいです (介護支援専門員)。
- ◆全世代型包括ケアは難しいですが目指していきたいと思いました (社会福祉士)。
- ◇高齢者と子供の交流、資源の共有が今後の持続できる医療、地域につながるのかなと思いました (保健師)。
- ◆多くの職種が地域を支え、よい関係で、仕事が楽しそうに思いました (看護師)。
- ◆どこの地域でもこの取組があればみな幸せにつながると思えます (行政事務職)。
- ◇地域包括ケアシステムに関わる多くの施設等はほぼ完成したように思われるが、このシステムをどのように動かしていくか、ソフト面での運用を考えねばならない時期に来ていると感じた (医師)。
- ◆ドクターグループの幅広い取り組みに感動した (医師)。

第26回ことう地域チームケア研究会に参加して下さった方の所属事業所 (同意を頂いたところのみ記載しています)

《順不同》

松木診療所・中西医院・小林医院・近江診療所・豊郷病院・彦根市立病院・彦根中央病院・野村歯科医院・ニュータウン上出歯科医院・田井中歯科医院・歯科衛生士会・リリー薬局・後三条ハッピー薬局・第一三共株式会社・スズケン・彦根市訪問看護ステーションほほえみ・訪問看護ステーション ふれんず・レインボウひこね・こころ訪問看護ステーション・ケアプランセンターどりーむ・愛荘町社会福祉協議会・あったかケアプランセンター・笑ケアプランセンター・彦根市社会福祉協議会・ぶどう居宅介護支援事業所・NPO ほほハウス・ケアマネジメントセンター・ライフ・鈴木ヘルスケアサービス・デイサービスさくら・ミドリやいなえ・特別養護老人ホームさざなみ苑・ヤマシタコーポレーション・株式会社ライフ・株式会社トーカイ

甲良町地域包括支援センター・愛荘町地域包括支援センター・多賀町地域包括支援センター・豊郷町地域包括支援センター・彦根市地域包括支援センターいなえ・彦根市地域包括支援センターきらら・彦根市地域包括支援センターすばる・彦根市地域包括支援センターハピネス・彦根市地域包括支援センターゆうじん・米原市地域包括医療福祉センターふくしあ・彦根市議会・滋賀県作業療法士会・愛荘町健康推進課・彦根市子ども未来部・彦根市医療福祉推進課・彦根市健康推進課・彦根市障害福祉課・彦根市福祉保健部・湖東健康福祉事務所・彦愛犬介護保険事業者協議会

第26回のSNAP(一部紹介)

2017. 5. 11

グループごとに全員ひと言自己紹介。

名前と所属だけの紹介ですが、今後のつながりのはじまりになりますように…。

